

ところ会 10月OP-5 行事 新河岸川を歩く・志木～朝霞へ(シリーズ-6)

日時:平成 30 年 10 月 25 日(木) 曇り

集合場所・時間:武蔵野線新秋津駅 8 時 35 分

参加人員:8 名

ルート・見学場所:

北朝霞→東圓寺の板石塔婆→比留間家文書→湧水代官水→一夜塚古墳→旧高橋家住宅→台雲寺→金子家の板石塔婆→根岸の馬頭観音→朝霞駅→昼食:ボンパスタ→朝霞駅・北朝霞駅・新秋津駅・秋津駅・所沢駅(解散)

今回、本シリーズ最終回で締めくくる予定でしたが、今回の計画立案時に歩行距離の問題が生じ、距離を短くすることを主眼に検討した結果、廻る予定の場所が少なくなり少し疑問を感じながら今回のコース設定となりました。当日は秋晴の快晴に恵まれての出発となる。最初の目的地の東圓寺は境内が素晴らしく境内散策を楽しむ。境内の東屋で一休み、そこで全員でパチリ。次の目的地比留間家の古文書の碑の前を通過し、湧水代官水へと向かう。ここでは段丘の崖から染み出る湧水を見て、ゆっくり時間をかけてお八つタイム。一夜塚古墳を経て旧高橋家住宅へ、ここはブログに書かれた夏グミの古木があるとのことで、ボランティアの方に質問するがわからず。朝霞市の文化財マップにて別の場所にあることがわかり、ブログの間違いと判明し、今回のコースの途中にあり廻ることにする。台雲寺から金子家の板石塔婆に、敷地に入らせていただきじっくり観察する。途中、先ほどの夏グミの木を観察し最後の目的地根岸の馬頭観音堂へ向かう。簡単な説明を終えて、時間を確認すると予定より 30 分程度早く、食事処へ電話するが 13:00 でないと席が開かないとのことで、各自朝霞駅前で時間を潰して、昼食タイムとなる。昼食の Pasta ランチは好評で一安心、これで今回の新河岸川シリーズはひとまず終わることになりました。でも何か物足りず、おまけに和光篇と板橋篇を時期を見て考えたいと思っております。ありがとうございました。 居田 記

参加者のコメント

今日は、湧水代官水で蒲の穂を、個人宅にたくさんの板碑(数百?)を、樹齢二百年の夏ぐみの樹を見られたし、ランチも美味しかったです。上着にまでコーヒーを飲ませてしまったのがちょっと失敗。新河岸川シリーズも6回目の今回は最終回で、一応終わりましたね、ありがとうございました。でも、今後のおまけの企画も期待しています。

秋晴れで陽射しはやや強かったものの汗をかく手前の気温で散策には最高でした。適度にアップダウンのある武蔵野台地、住宅地の中にほうれん草、ニンジン、大根栽培の畑の広がりを見てホットしました。東圓寺は静かな佇まいの境内に100体ほどの地蔵が設置されていて、その全てには左手に数珠、右手には独鈷を持っていたのは大変珍しいと思いました。湧水代官水の公園では2箇所の湧水源、朱い烏瓜、池にはガマの穂が茂っていたのには心が癒されました。女性の皆様にはおやつを持参頂きご馳走様でした。



昼食場所:ボンパスタにて



湧水代官水:湧水点・流れ



東圓寺の東屋で